

集英社新書「憲法九条を世界遺産に」現在ベストセラーで23万部突破!

〇〇〇爆笑問題事務所と集英社に交渉し、もちろん太田光のホンモノのサインです!!〇〇〇

爆笑問題太田光のサイン入り新刊本(限定50冊)の販売も

アンケート・ビデオの放映や貸し出し
新刊本や映画チケット・パンフキンパンの販売、etc.

「会」では11月3日(金)「あきいち2006」に出店!!

「はらまち九条の会」では、11月3日(金)恒例の原町名物「あきいち2006」に出店し、憲法九条の意義や大切さを市民にアピールいたします。会員の皆様には、お気軽に立ち寄って声をかけていただきたいと思いますとお待ちしております。

《「はらまち九条の会」あきいち2006 イベントの主な内容》



〇日時: **11月3日(金)文化の日 午前9時~午後4時**

〇場所: **原町区駅通り菊秀さん前**・会員のお手伝い(数名)をお願いします!

〇イベントの内容……憲法九条にちなんで⑨つの内容を計画してみました!

① **憲法九条のアンケート実施**(協力の先着100名にパンフキンパンをプレゼント)

② **憲法九条に関する新刊本の販売**(三島町大内書店さんの協力で開催します)

◆爆笑問題太田光のサイン入り「憲法九条を世界遺産に」集英社新書693円◆『爆笑問題の戦争論』戦争って何? 幻冬舎 1,365円◆井上ひさし『こどもにつたえる日本国憲法』講談社 1,000円◆小西豊治『憲法「押しつけ」論の幻』講談社現代新書 735円◆金子勝『鈴木安蔵先生から受け継ぐもの』生誕百年シンポジウム 1,000円◆『憲法を変えて戦争へ行こう』500円◆『憲法九条、いまこそ旬しゅん』500円◆『憲法九条、未来をひらく』500円◆樋口陽一『「普通の国」を越える憲法と「普通の国」すら断念する改憲論』◆文部省『あたらしい憲法のはなし』300円◆童話屋『日本国憲法』300円◆小森陽一『有事体制と憲法』480円◆憲法会議編『日本国憲法』500円など

③ **映画「日本の青空」製作協力券(入場券)の販売**(日本国憲法はアメリカの押しつけではありません。旧小高町出身の憲法学者鈴木安蔵たちが現憲法の原案を作ったのです。その安蔵が主人公の劇映画が11月にクランクイン。完成の来年春、小高や原町でも上映会を開催する予定です。地元としても大変楽しみです)

④ **アニメ「NAGASAKI 1945~アンゼラスの鐘」入場券の販売**(ナガサキの原爆投下をテーマに。12月3日(日)サンライフ南相馬での上映会のチケットです)

⑤ 憲法九条の**ビデオ「憲法九条は訴える」の放映**(コントなどの楽しい内容)

⑥ 会員に憲法九条のビデオの貸し出し・市民に「九条ブログはらまち」の配布

⑦ **パンフキンパンの販売**(ポヌールさんが南相馬市のカボチャで作った特製のパン)

⑧ 「はらまち九条の会」会員の勧誘(現在277名、300名をめざしています!)

⑨ 朝倉悠三さんデザインの鳩を抱く少女の「**憲法九条を守ろうシール**」の配布

〇〇〇お茶を準備しておきます。お気軽にお休みください〇〇〇

〇〇どなたか女性会員(数名)のお手伝いをお願いします〇〇

〇あきいちのイベントについて・九条の会への入会・映画『日本の青空』などのチケット・9条の新刊本などのお問い合わせは、何なりと事務局員までお気軽にご連絡ください。

<事務局員連絡先> ・山崎TEL22-8631 ・石田TEL22-4037
・早坂TEL22-0326 ・井上TEL22-7511 ・番場TEL22-0715

命の尊さ

南相馬市 山田禎春

戦争 内乱 紛争が世界各地に広がり
絶えることがない
戦争をしないと決めたのに
話し合って解決するか 戦争か
人間はまだそんなことを言っている

人の心の真実に向き合う
言葉や文化、国境を越えた
心の交流の必要性が
改めて 伝わればよい

時代は音もなく動き
戦前 戦中への回帰が見えつつある
自衛軍保持の改憲を
許してはならない

戦争放棄という
戦後日本の看板を捨てず
命の大切さをしみじみと
改めて思い起こそう

(「退職互助会ニュース」より転載・
山田さんは「はらまち九条の会」会員)



<各種行事の案内・連絡など>

▶ 11月5日(日) 10時~14時 **わくわく収穫祭** ・原町区高金井神5 **勝冶様宅**

・有機低農薬の野菜や手作りEMせっけんの販売・パッチワークや陶芸などの作品展
・11時から濱須美貴さんのお琴演奏もあります。(連絡先 TEL 23-7544)

▶ **映画「NAGASAKI 1945~アンゼラスの鐘」上映会**

12月3日(日) 10:00~ ・サンライフ南相馬市で開催

入場券: 大人1,000円・子ども800円。ご希望の方は事務局員まで。

▶ 「はらまち九条の会」では2・3月ごろ「許すな! 憲法改悪

・市民連絡会の**高田健さんの講演会**」を予定しています。

日時や会場は決定次第、連絡いたします。高田さんは憲法九条や政治についてなど全国各地で講演をされていますが、大変わかり易いお話で大好評の方です。

▶ 「孫たちのために憲法九条を残そう」10月21日(土) 東京銀座で、1960年の安保条約改定反対運動に活動した60・70代の年配者が、「憲法九条を守ろう」「孫たちに平和憲法を残そう」とデモ行進を行いました。がんばれ! 旧全学連・元全共闘!

▶ 全国の小中高校の校長先生の8割が、「教育基本法を変える必要はない」

「教育を政治化しすぎて、改革も性急すぎる」と考えているそうです。

岩波ブックレット「憲法を変えて戦争へ行こう

という世の中にしないための18人の発言」より

- 「半世紀、他国に戦争をしかけなかった国」「死ぬのがイヤなら、殺すのもイヤだと思わず」「すべての戦争は「守るため」に始まる」……(中村 哲)
- 「とにかくよかったのは、「戦争を放棄します」ということ」……(美輪明宏)
- 「「憲法改正」が天から垂れてきた最後のよりどころ、「蜘蛛の糸」のように見えているのではないか」……(香山リカ)
- 「人間は、『言葉』という素晴らしい道具を持っています」……(吉永小百合)
- 「憲法九条の枠組みのほうでテロには対応している」……(姜 尚中)
- 「日本は非軍事面で世界から期待されている」……(松本侑子)
- 「どんどん右回りの蚊取り線香みたいな国になって、火がついたまま最後までいってしまうからね」……(井筒和幸)
- 「この九条のおかげで、日本は戦争で誰ひとり殺しもしなかったし、殺されもしなかったのです」……(ピーコ)

■ ■ ■
押しつけと
国会で息巻く
美しくない
改憲押しつける
戦知らぬ人
この日本
(朝日川柳より)

